

★ 投影番組

秋番組『秋の夜空は水族館』

【投影期間】2023年9月9日(土)～2023年11月26日(日)

秋も深まり日が傾いてきたなどと思っていると、太陽はアツというまに地平線に沈んでしまい、文字通り「秋の夜長」となります。気候もよいので星座観察には最適です。

秋の星空は、あまり明るい星がなく寂しそうな印象ですが、壮大な星座物語の登場人物が、そろって星座になっています。

はじめに「秋の大四辺形」を見つけましょう。この四辺形は「ベガスの四辺形」とも呼ばれ、ベガス星座の一部となっていて、秋の星座を探すときの目印です。この「ベガスの四辺形」を使って秋の星座を探してみましょう。

また、秋といえはお月さまがとてもきれいに見える季節です。うさぎが出てくる月のお話もありますよ。

★ 利用案内 ★

投影日時

- 土曜投影 11時00分～11時30分 ○ 日曜投影 14時～14時30分
- フラネタリウムの投影スケジュールにつきましては、児童センターまでお問い合わせいただくか、児童センターだよりまたは、ホームページでご確認ください。

- 入場は投影開始15分前からです。
- 定員 100名
- 投影は、幼児も観覧できますが保護者の同伴が必要です。

休館日

- 毎週火曜日、祝日(5月5日を除く)
- 年末・年始(12月29日～1月3日)

観覧料

- 無料です。



新型コロナウイルス感染の5類感染症移行後も、基本的な感染症対策(手洗い手指消毒、換気等)の啓発を継続します。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

入館の際は「児童センター利用簿」の記入をお願いしております。

また、投影は予告なく変更または中止になる場合がありますのでご了承下さい。



伊勢崎市児童センター

〒372-0023 伊勢崎市粕川町1609
TEL. 0270-23-6463 FAX. 0270-23-6477
<http://www.ise-shakyo.or.jp/>

伊勢崎市児童センター

検索

伊勢崎市児童センター

フラネタリウム 秋

2023 No.159

表紙「うお座」

「うお座」はひもで結ばれた2匹の魚の姿をした秋の星座で、誕生星座で知られる黄道十二星座の1つです。秋の夜に南の空高くのぼった秋の大四辺形のすぐ南東側に「く」の字の形に星が並んでいます。4等星以下の暗い星ばかりでできているため、見つけにくいかもしれませんが、天文学上の座標の原点となる春分点も現在「うお座」にあることでも知られています。

星空では赤経0°の線は春分点を通ると決められています。春分点とは春分の日に太陽が位置する点のことで、太陽の通り道である「黄道」と「天の赤道」が交わる点のことです。また、黄道と天の赤道は天球の2カ所で交わりますが、もうひとつの点は秋分点で、春分点とは反対側になります。

「うお座」は古代シュメール時代に誕生したと言われている古い星座のひとつで、はっきりとしたギリシア神話などは伝わっていませんが、「うお座」のモデルは美の女神・アフロディーテとその息子であるエロスの変身した姿だと言われています。ふたりは、恐ろしい怪物に襲われたときに急いで魚に姿を変え、離ればなれにならないようにひもで体をつなぎ、川に飛び込みました。そのときの姿がうお座に描かれているということです。



Pisces
うお座



秋の星座の探し方

秋の星空



★ペガサスの四辺形・ペガサス座

四つの星が長方形に並んでいるのが、天馬ペガサス（英語読みでペガサス）のどう体にあたります。この四角形をペガサスの四辺形といいます。

四辺形の右下の星から「へ」の字を上下さかさまにしたような形で、ペガサスの首の部分の星の並びが、西上の星から、前足の部分の星の並びがあります。

★アンドロメダ座

ペガサスの四辺形の左上の星をアンドロメダ姫の顔にして、アルファベットのAの字に星が並んでいるのが、アンドロメダ座です。アンドロメダ姫の腰あたりに著くかがやく光の集まりは、アンドロメダ銀河です。

★カシオペア座

北の空高くに5つの星がアルファベットのWの形に並んでいるのがカシオペア座です。

★北極星

カシオペア座のそれぞれの外側の星二つを線で包みこんでのぼし、かさなるところから真ん中の星へ線を結びます。これを5倍先にのぼすと見つかる星が北極星です。

★ケフェウス座

カシオペア座の西となりに星が5角形に並んでいるのがケフェウス座です。ヘルセウスの大冒険では、影の薄かったケフェウス王ですが、星座でも、見つけづらく地味なものになっています。

★ベルセウス座

アンドロメダ座の足元に、星が漢字の「人」の字に並んでいるのがベルセウス座です。

★みなみのうお座・みずがめ座

ペガサスの四辺形の西側の辺を下にのぼしていくと、明るい一等星フォーマルハルトが見つかります。これがみなみのうお座の口に当たります。

フォーマルハルトから、ペガサスの首のそばにあるY字型の星の並びを目印してみずがめ座があります。

★やぎ座

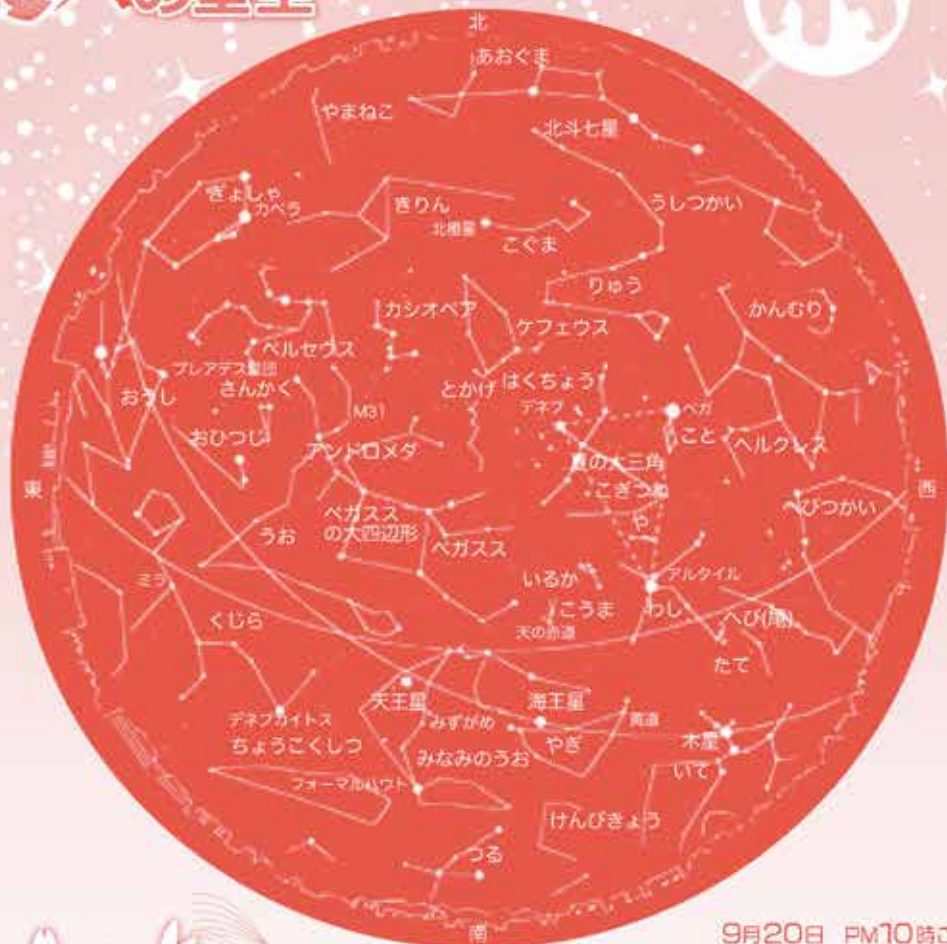
みずがめ座の西に、星が「▽」下向きの三角にならんでいるのが、やぎ座になります。

★うお座

ペガサスの四辺形の、下と東の辺を囲むように星がVの字につながっているのが、うお座になります。

★おひつじ座

うお座の東に「へ」の字を左右にひっくり返した形に星が並んでいるのが、おひつじの頭にあたります。そこから、フレアデス星団そばにあるしっぽの部分の星をつなぐと、おひつじ座になります。



月のこよみ

9月

- 7日 ①下弦
- 15日 ●新月
- 23日 ①上弦
- 29日 ○満月(コーンムーン / ハーベストムーン)

10月

- 6日 ①下弦
- 15日 ●新月
- 22日 ①上弦
- 29日 ○満月(ハンターズムーン)

11月

- 5日 ①下弦
- 13日 ●新月
- 20日 ①上弦
- 27日 ○満月(ビーバームーン)

天体ニュース

★★★中秋の名月

2023年の中秋の名月は9月29日です。中秋の名月は必ずしも満月の日とは限りません。少し欠けていることもあります。この秋は、まん丸な月でお月見を楽しむことができます。日本では中秋の名月は農業の行事と結びつき、「芋名月」などと呼ばれることもあります。また、今年は10月27日の夜が十三夜で、その夜にもお月見をする習慣があります。

★★★オリオン座流星群

明るい流星が多いオリオン座流星群は、10月22日午前9時頃に極大となり、放射点が昇る午後10時頃には月が沈み、明け方にかけて放射点の位置もどんどん高くなるので、月明りの影響も無く観測にはとても良い条件となります。また、この時期明るい土星と木星も昇っているため、天体望遠鏡で観測してみたいかがでしょう。

★★★明け方の部分月食

10月29日の明け方に部分月食が起こり、ほぼ日本全国で見ることができます。部分食の始まりは4時35分でそれから月が徐々に地球の影に入り、5時53分に部分食が終わります。地球の影によって全て隠される「皆既月食」と、一部が隠される「部分月食」があります。今回起こる「部分月食」があります。今回の月食では、あまり大きく欠けないうちに月食が終わります。